

## 大腸がん二次健診について

健康診断で、便潜血陽性ということで精密検査を勧められたら、誰しも心中穏やかには過ごせません。放置することはいけませんが、心配しすぎることも問題です。まずは、正確な情報を頭に入れておきましょう。

### 便潜血陽性とは？

便潜血とは、読んで字のごとく、便に血が潜んでいる状態です。通常、お口から入った食べ物が、胃、十二指腸、小腸、大腸・S状結腸・直腸を経て、肛門から便として排泄される課程で便に血が混じることはありません。現在の便潜血の検査では、主に、大腸以後の消化管で出血しているのかどうかをみることを目的としています。

### 便潜血陽性となる疾患

便潜血が陽性になる疾患には、色々あります。比較的若い方にも多いのが、潰瘍性大腸炎やクローン病などの炎症性腸疾患と呼ばれるものです。これらは、明らかな血便として出ることも多いのですが、便潜血陽性で発見される例も少なくありません。また、大腸の壁に小さい袋のようなもの（憩室＝けいしつ）ができ、そこが炎症を起こすことで出血するケースもあります。

最も重要なのは、大腸ポリープからの出血によって便潜血陽性が見つかるケースです。特に、大腸ポリープは、小さいうちはほとんどが良性ですが、直径が2cmを超えると、一部ががん化し始めるという報告もあり、発見した場合には放置せず、きちんとした検査と治療を行っていくことが大切です。

### 大腸がんとは？

食生活の欧米化とともに、大腸がんは急激に増加しています。近年医学の進歩により、大腸がんは早期発見・早期治療すれば治る可能性が高いと言われています。そのため、スクリーニング検査である便潜血検査が行われている訳です。とくに以下に示すセルフチェックで三つ以上当てはまるようであれば精密検査をおすすめします。

### 大腸がんセルフチェック

- 下痢もしくは便秘を繰り返している。
- ストレスを感じることが多い。
- 身近な人に大腸がんの既往歴がある。
- タバコを吸っている。
- 魚より肉類が好きでよく食べる。
- 50歳以上である。

## 受診方法

森本記念クリニックでは、全診療科完全予約制となっています。予約については、「予約コールセンター」までお願いいたします。初診の方でも、予約をとって頂くことが可能です。

オペレーターに「便潜血で陽性と言われて精査をしたい」旨をお伝えください。ご都合に合わせて診察予約をお取りします。

### 予約コールセンター

 **0120-5489-92**

### 【コールセンター受付時間】

月曜日～金曜日 **午前8:00～午後5:00**  
(但し、祝日・年末年始を除く)

## 精密検査について

精密検査については、「注腸エックス線検査」・「下部消化管内視鏡検査」があります。

### ◇ 注腸エックス線検査

注腸 X 線検査とは、大腸(直腸・結腸)に造影剤を注入し、X 線撮影をして詳しく調べる検査のことで、下部消化管 X 線検査ともいいます。

大腸がんのほか、大腸ポリープ、クローン病、潰瘍性大腸炎、大腸憩室などがこの検査で診断できます。

検査を行う際には、肛門から造影剤のバリウムを注入し、次いで空気を注入して大腸を膨らませます。体位を変えてバリウムを腸壁全体に行き渡らせ、エックス線撮影を行います。内視鏡検査と比べて、痛みが少ないのが特徴です。



### ◇ 下部消化管内視鏡検査

肛門から内視鏡を挿入し、大腸の粘膜に生じた病変を直接観察する検査で、大腸内視鏡検査とも呼ばれています。検査と同時に生検用の組織を採取したり、ポリープを切除したりすることもあります。

注腸エックス線検査と同様に、大腸がんのほか、大腸ポリープ、クローン病、潰瘍性大腸炎、大腸憩室などがこの検査で診断できます。

内視鏡検査では、病変を見つけたら、生検のために組織を採取し、ポリープであればその場で切除(ポリペクトミー)できます。これが、内視鏡検査の最大のメリットといえます。

